

# 3号機 ガレキ撤去のための 使用済燃料プール内水中事前調査 (2回目、3回目) の実施について

平成24年6月25日

東京電力株式会社



東京電力

---

# 1. 目的及びスケジュール

## ◆目的

- ・ 3号機使用済燃料プール（SFP）からの燃料取出しを実現させるためには、燃料取出し前に原子炉建屋上部及びSFP内のガレキ撤去が必要。
- ・ そこで、ガレキ撤去計画の立案に資することを目的とし、2012年4月13日にSFPの水中事前調査（1回目）を実施。水面付近のガレキ分布の様子や燃料交換機の落下状況の一部を確認した。
- ・ 今回、SFP周辺のガレキ撤去を計画していることから、2回目、3回目の水中事前調査を実施する予定。また、今後もガレキ撤去状況に応じて調査を継続する。

## ◆3号機スケジュール



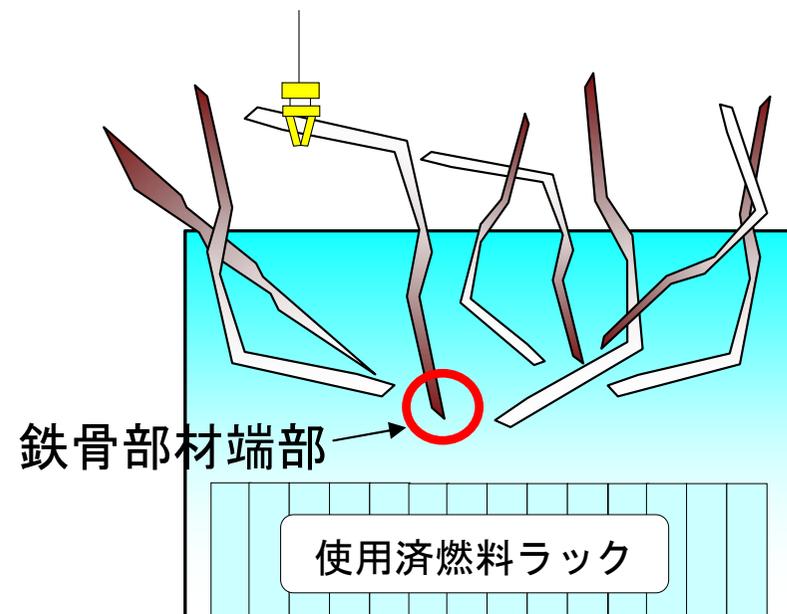
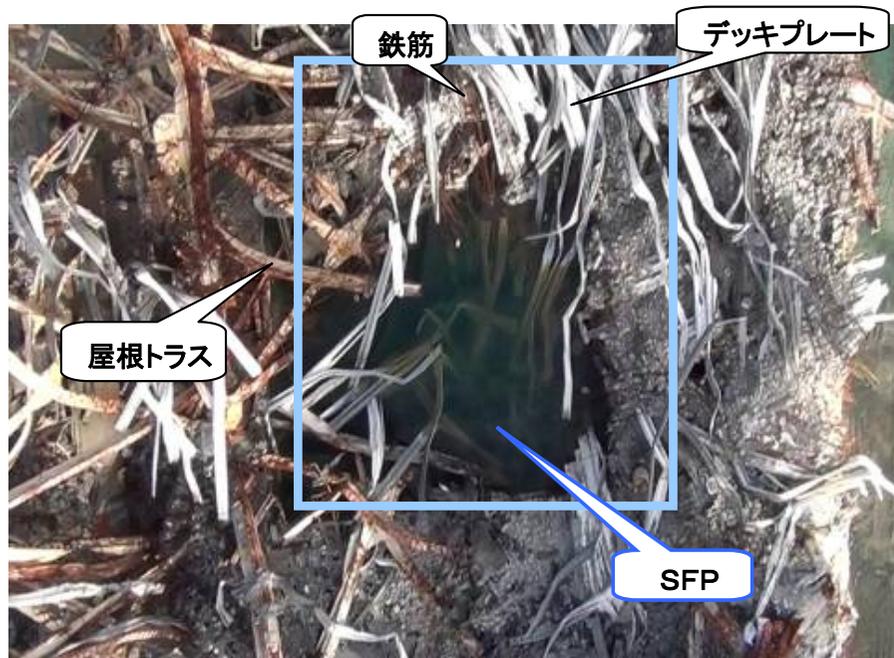
## 2. 使用済燃料プール内調査（2回目、3回目）の概要

### ◆2回目調査

- 気中／水中に跨る鉄骨部材については、SFP内機器への影響がないことを確認の上、撤去する必要がある。
- 水中カメラにより鉄骨部材端部を確認し、ガレキ撤去計画立案に資することとする。

### ◆3回目調査

- オペレーティングフロア上のガレキ撤去工事に伴うリスクを低減するため、SFP開口部の養生を検討中。
- プール内調査（1回目）において、燃料交換機等、プール内ガレキ落下状況の全容を把握できていないことから、SFP開口部養生直前において詳細確認を実施する。



## 参考. 水中カメラ調査の概要

- クローラークレーンを用いて固定式の水中カメラを免震棟遠隔操作室から操作、使用済燃料プール内の映像を撮影。

